

ふじ
藤刈れば想ひ出深し 十返りの
えにし
縁の人の 初晴れ舞台
はっ

令和七年五月一日

大中臣正比呂



何処となくいい香りがする。散歩道の松の葉陰に藤の花が見えた。
二枝、三枝を刈り取って、花瓶に生けると更に想い出がよみがえる。
春の盛りは、藤娘を踊ったあの頃の、貴女の香りで満ちているのだ。